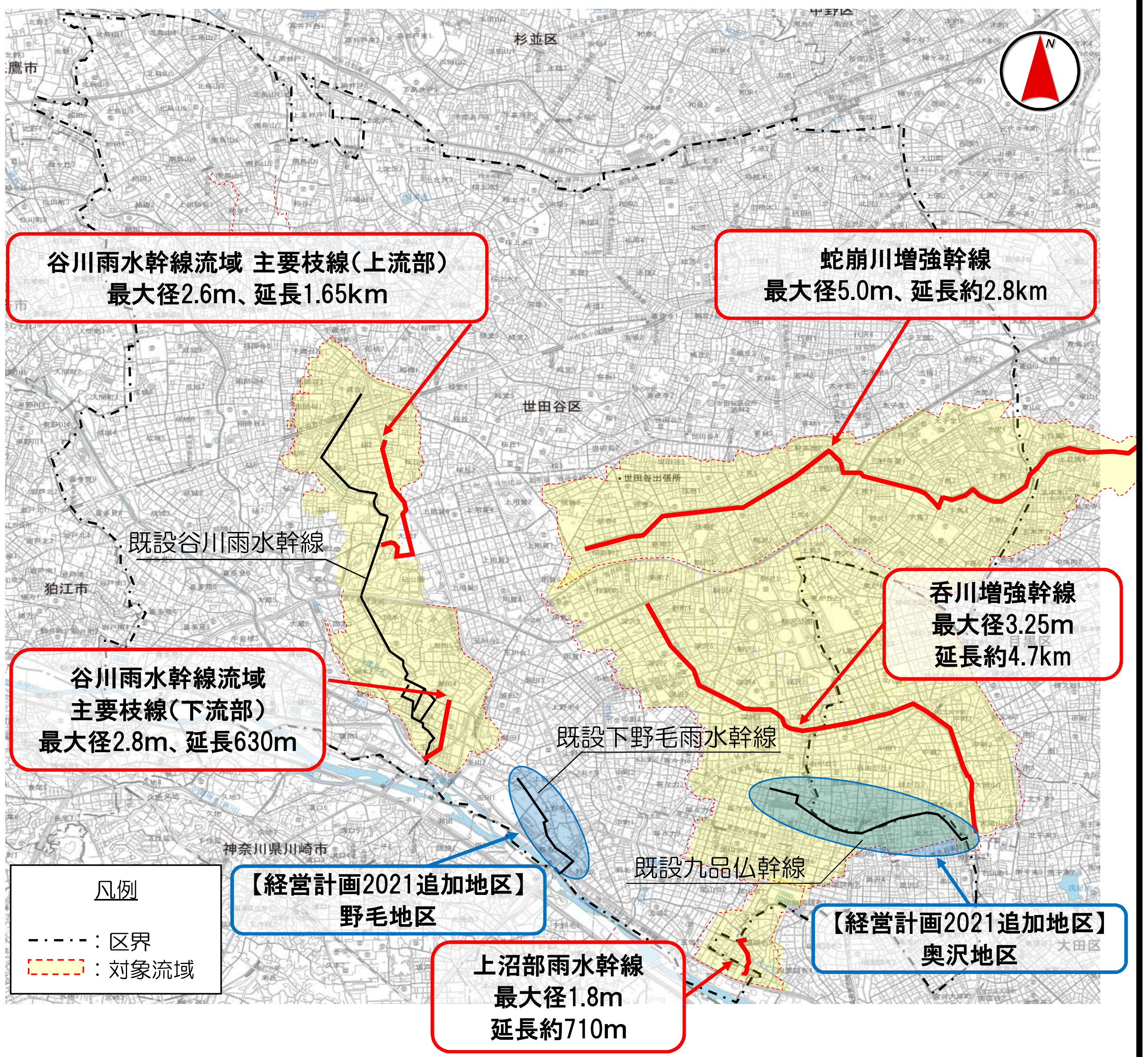
世田谷区における下水道事業（浸水対策・耐震化）

事業名		対象地区	事業概要	進捗状況	詳細
浸水対策	蛇崩川増強幹線の整備	弦巻地区	時間75ミリの降雨に対応する新たな増強幹線を整備	平成29年度　工事着手 最大径5.0m・延長約2.8kmの幹線を施工中 （世田谷丸山公園と弦巻三丁目東公園の間）	①
	呑川増強幹線の整備	深沢地区		平成28年度　工事着手 最大径3.25m・延長約4.7kmの幹線を施工中 （三島公園と東京工業大学（目黒区内）の間）	
	谷川雨水幹線 （主要枝線）の整備	砧・桜丘地区 玉川地区	時間50ミリの降雨に対応する主要枝線（幹線に雨水を取り込むための取水管）を整備	平成26年度　工事着手 最大径2.8m、延長約2.28kmの主要枝線を施工中 （玉川3丁目～瀬田4丁目の間）	
	上沼部雨水幹線の整備	玉堤地区	時間50ミリの降雨に対応する新たな対策幹線を整備	平成29年度　工事着手 最大径1.8m、延長約710mの幹線を施工中 （世田谷区玉堤1丁目～大田区田園調布5丁目の間）	
	下野毛雨水幹線流域の増強施設の整備	野毛地区	時間75ミリの降雨に対応する新たな増強施設を整備	工事着手に向けて、調査・検討等を開始	
	九品仏幹線流域の増強施設の整備	奥沢地区	時間75ミリの降雨に対応する新たな増強施設を整備	工事着手に向けて、調査・検討等を開始	
	樋門操作の安全性確保	多摩川 排水樋門	多摩川の水位が上昇した際も、安全に樋門を操作できるように、転落防止柵の嵩上げや宅地側に遠隔操作盤を設置	令和2年5月　完了	②
下水道の耐震化	避難所、広域避難場所の耐震化	区内	震災後においても、避難所や世田谷区庁舎などの重要施設のトイレ機能を確保するため、これらの施設からの排水を受け入れる下水道管の耐震化を実施	避難所　200施設完了　（区内全216施設中）	③
	区庁舎等の重要施設の耐震化			重要施設　91施設完了　（区内全134施設中）	
	緊急輸送道路等におけるマンホールの浮上抑制対策		液状化によるマンホールの浮上により、緊急輸送道路等の重要道路が通行できなくなることを防ぐため、対策を実施	緊急輸送道路等　約8.4km完了　（区内全約9.4km中）	

世田谷区における下水道事業(浸水対策・耐震化)

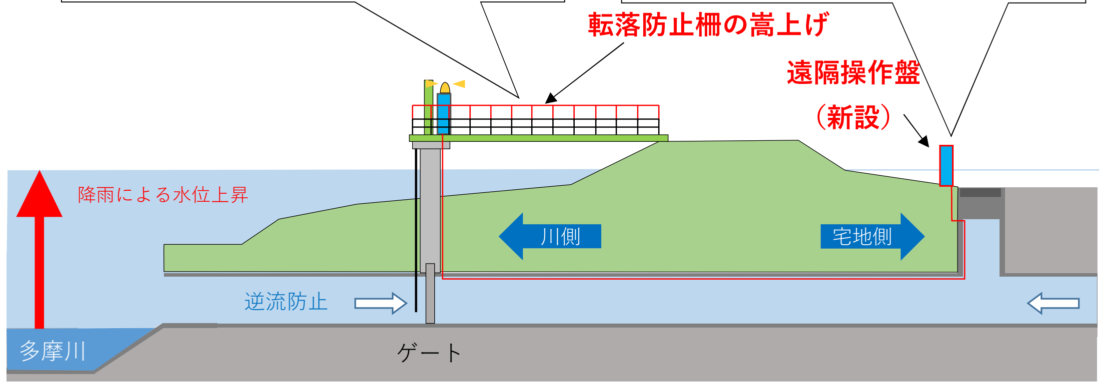
①浸水対策事業



②多摩川における樋門操作の安全性確保

転落防止柵の嵩上げ

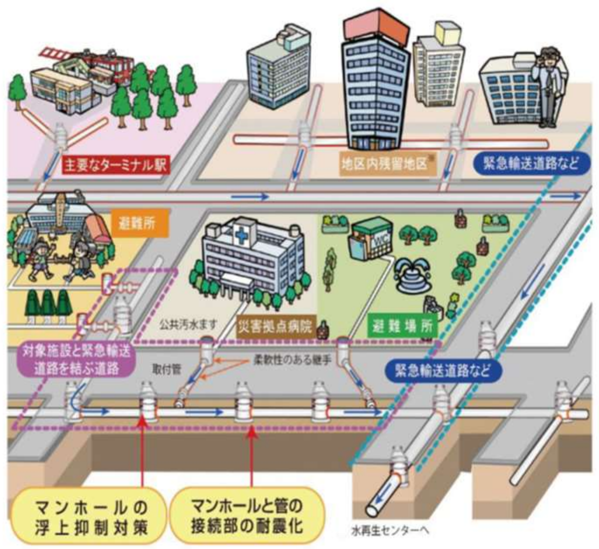
遠隔操作盤（新設）



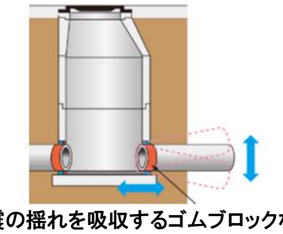
③下水道の耐震化

下水道管の耐震化のイメージ

【下水道管の耐震化の対象施設】

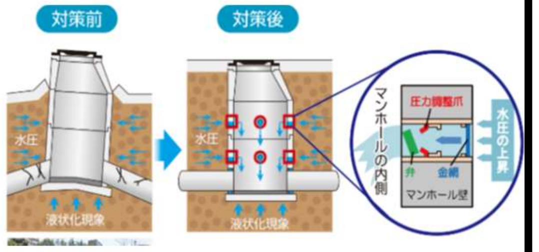


【下水道管とマンホールの接続部の耐震化】



地震の揺れを吸収するゴムブロックなどを設置

【マンホールの浮上抑制対策】



液状化現象による過剰な水圧をマンホール内に逃がして、マンホールの浮上を抑制します。

避難所の耐震化：避難所200施設完了（区内全216施設中）
区庁舎等の重要施設の耐震化：重要施設91施設完了（区内全134施設中）
緊急輸送道路等におけるﾏﾝﾎｰﾙの浮上抑制対策：緊急輸送道路等区内約8.4km完了（区内約9.4km中）